

アイシエツト



シルフィエツト

アイシヤ

本

ell裏

成人向け

R18

18歳未満
購入・閲覧禁止

注意がき

- ・アニメ2期までのネタバレを含みます。
- ・18歳未満の方の閲覧は固くお断りします。
- ・転売、無断転載、複製、Web上への掲載は禁止です。
- ・登場人物に内面について、かなり尖った解釈をしています。
- ・性的指向の改変も含むため、[何でも許せる方向け]です。
- ・最初のページからセンシティブ内容なため注意してから読むようお願いいたします。





あ

う

う

う

う

う



私は最近、夜が深まる頃
兄夫婦を見て自慰をしている。



いつもと違う二人に
より強い興奮を覚える。

私も年頃だ。
やめなければいけないと思うが
放たれた欲情はどうしても
ゆうことを聞かない。



はあ…
何やってんだろ
あたし…



私どうかしてるみたい。
そう思うと同時に二人の愛し合う姿に
強く憧れる。

私もあんなふうになりたい
私もあれがほしい

呆れと憧れは日々、
強くなつていった…。



朝

おはよう
ビート。

ハイハイハイ

何気ない朝いつもの朝
昨日あんなことをしていたのに……

欲情は仕方ない 年頃だもん。
そう、割り切って今日も仕事を
こなしていく。

ふと、シルフィ姉を見る
相変わらず笑顔が眩しい。

その顔が、とても綺麗だと感じる。
そして同時に私では手が届かないと。
彼女の顔を見るたび
そう、知らされる……。

ブエナ村にいた頃は
こんなものじゃなかった。
いつも自信なさげで
一人ぼっち。

だけど、変わってしまった。
成長したのだ。
ただ一人愛する人のためには
動け、自身もまた大切にで
きる女性へと……。

考えれば考えるほど胸がざわめく。
なんだろう、この気持ち。
下腹の辺りがキュンとする。

もしかしてとは、思うけど
分からなくて……。
モヤついた気持ちだけが
残り、積もっていく。
ギョ……

夜

もう
酔っ払っちゃって

ル
デ
イ

ス
ピ
ー

ス
ピ
ー



…起きそうに
ないかも…。

…。

チャンス
だと思った。

前々から準備をしていた。
いつか来るかもと。
来たらしいなと願って。
ダメだとわかっているのに。

けど、どうしても確かめたかった。
もう抑えが効かなくなりそうなのだ。
言葉が言い訳となり、頭を溶かす。
気持ちが高ぶっていく。

トッ…

あの笑顔が欲しくて。
私だけに向けてほしくて。
だから私は…。

ねえ、シルフィ



せいよく

恋心をぎゅっつけた。

ベッド行こうか。



どうやら酔払っている
シルフィ姉は変装した
私に気が付かなかった
ようだ。
少し安心した。



だけど、緊張は増すばかり。
階段を踏みしめるたび、より一層気持ちが強まっていく。



…ルティ!!

触つてみたかった。
これがシルフィ姉の
耳……

んっ……

今だけは
私の……





ぬき〜



ぬき〜
X
)

しん...

シルフィ姉
のおっぱい

んっ

ふっあけっ♡

おっぱい...

んっ

んっ

んっ





用意していた。
少し拝借した
王宮の魔道具……

バレませんように……
バレませんように……

ぬちっ

おは

あ

レクニヤ

アッ

これがシルフィ姉の
ぬくもり……
あったかいっ

ぬちっ

ぬちっ





もうダメ、
限界かも…

シルフィ
好きだよ。

ボクも…



ボクも好きだよ

ア・イ・シ・ヤ・ち・ゃ・ん



誰にだってこういう時期はあるし、しかたないけどさ、

最初から気づいていたけどね、

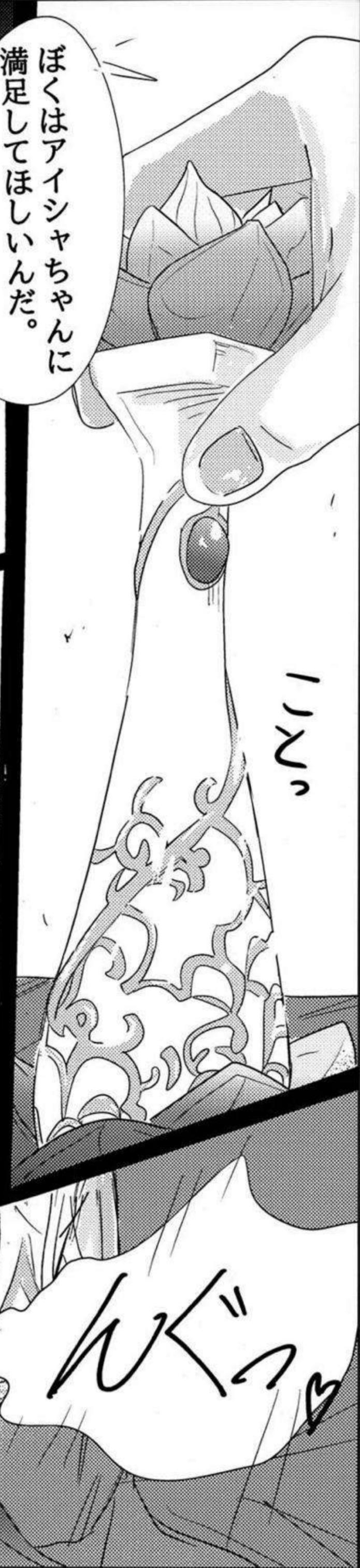
これはちよっとよくないよね。



ぼくはアイシヤちゃんに満足してほしいんだ。

だから、

満足して、一回で終わって？



ギ

ん

ん



おめあ



アハハ



めっ♡

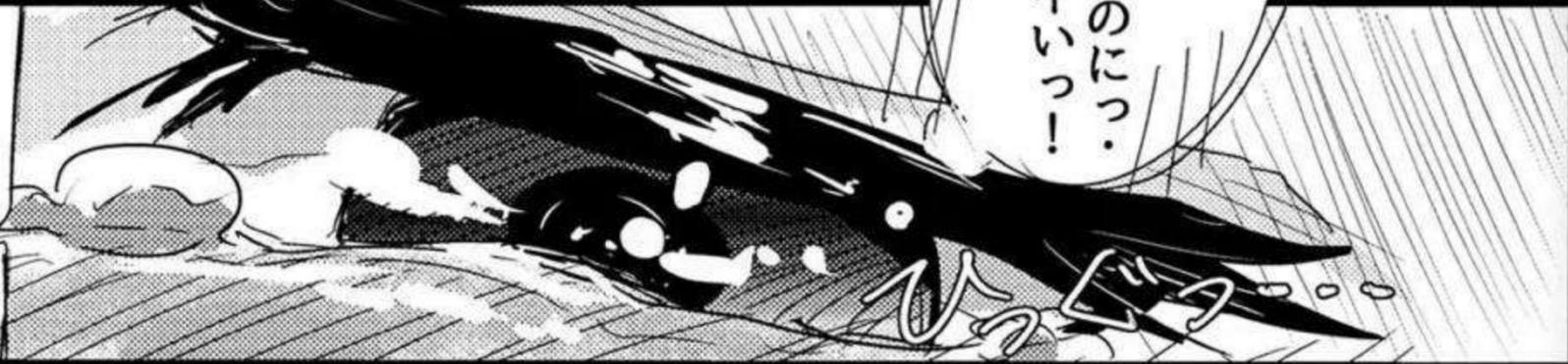
ひび

スハハ



激しっ…
いきたくないのにつ…
…きもち…いっっ…!

…だからね、
アイシヤちゃん



ボクを感じて



ボクでイって。





あ、ダメだ。

サ...



そんなこと、あなたに言われたらわたし、もう...

シルフィっ

私だけの
今イッたら、この瞬間
に:!!
いつちやだめなの

ぬちぬち

ぬち

ぬち



姉がっ!!

ぬちぬち

ぬち

ぬち

ぬち

ぬち

ぬち

ぬち



はあー

はあー

おわあ

イけたようで
よかったよ。

じゃあね、アイシャちゃん。
風邪、ひかないようにね。



あ、



ハ
タ
ン





いつもの
シルフィ姉だ。





目が覚めると
シルフィ姉はいなか
った。
ただ、そこにある匂
いだけが私に現実だ
ったと悟らせた。



私、シルフィ姉としたんだ……
ただ、私を見てなかったな……
見ていたのは……



...



あんなの昨日
見なかったな...

そうか...
最初から最後まで
私じゃなくお兄ちゃん
を...



ふと窓を見ると彼女は
満面の笑みをこぼ
していた。
昨日ついでに向けては
くれなかった顔を...



スー...

大丈夫。
普段に戻ろう。なるべ
くなにもなかったか
のように。
いつものごとく。

こうして、私
アイシヤ・グレイラットの
せいよく
初恋は
終わりを告げたのであった。



アイシツエツト

あとがき

皆さんこんにちは！ell裏です！普通に読んでも面白くなるよう描いたつもりでしたがたのしんでいただけでしょわか！蛇足編3巻があってからのこれですから解釈がね結構違ってくるのもあったとおもいます。何卒お見逃しくださいませ。まあね、アイシャ×シルフィエットを描いて切ない恋のような悲恋をねすこしでも感じていただけたらうれしいかぎりですね。感想お待ちしてます！！今回はあまり無理することなく進めていけたので比較的作画もきれいに書けて満足です。この調子でね行けたらいいんですけど、こっから職場も忙しくなるし、むてんごく、冬こみもあるし、ああ死にますね。まあ無理せず行けるようコツコツやっいていこうと思うので楽しみにお待ちいただけたら幸いです。最後に、理不尽な孫の手先生！シロタカ先生！無職転生に関わる全ての人に敬意と感謝をこめて、ありがとうございました！また、冬コミかむてんごくでおあいしましょう！

奥付

サークル名：白ママ教

連絡先：chaonengtorisu@gmail.com

発行日：2025年8月16日

印刷会社：サンライズパブリケーション株式会社

